

5 地域ごとのガイドライン

工業系地域

【特性と課題】

●幹線道路沿いなどに大小の工業団地が立地しています。

工業系地域は、主に国道16号、国道6号の広域幹線道路沿いに立地しています。北部には十余二工業団地、根戸工業団地、柏三勢工業団地及び柏機械金属工業団地が立地し、南部には沼南工業団地と風早工業団地が立地しています。

●大規模な工場では敷地内の緑化が見られます。

大規模な工場では、敷地にゆとりがあることから、緑を豊かに配している所が多く見られます。他方で、敷地にゆとりのない中小の工場では、緑の量が少なく、無機質な空間となっているところもあります。

●市民に親しまれる工場デザインの誘導が望めます。

工場や倉庫の大きな壁面は殺風景になりがちです。これらを市民に親しまれるようなデザインとすることが望めます。また、敷地を囲むフェンスの老朽化や、派手な色彩も見られます。

●工場と他施設の混在が見られます。

工場と住宅や商業施設が混在しながら市街化が進み、やや無秩序な景観となっている地区もみられます。近年は、工業系地域に大規模な商業施設やマンションの立地も見られます。



十余二工業団地

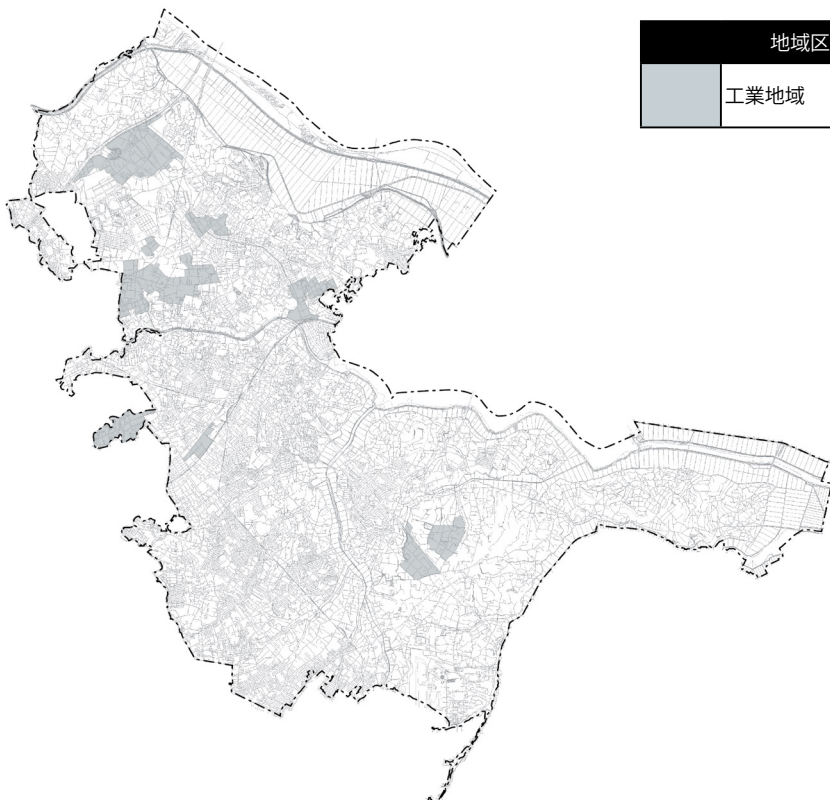


沼南工業団地



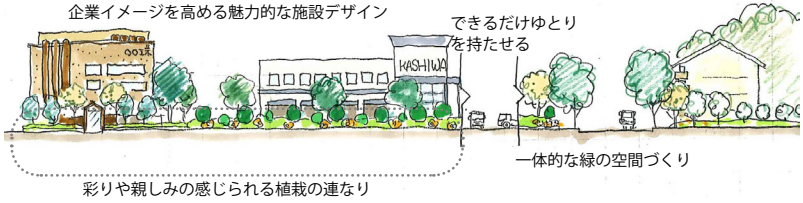

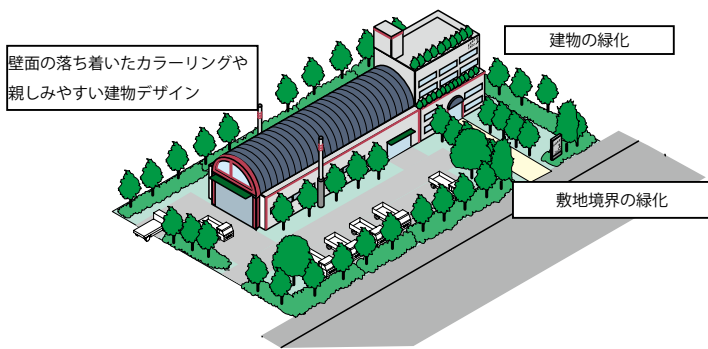
国道16号沿道

【該当する地域】



地域区分	対応する用途地域
工業地域	準工業地域, 工業地域, 工業専用地域

【ガイドラインの内容】

工業系景観づくりの段階	工業系地域の景観づくりに必要な3つのポイント
<p>柏の工業地景観の基本として配慮すること</p>	<p>①周辺環境に配慮し、快適な工業景観づくり</p> <p>ゆとりや魅力のある工業空間は、近隣の地域への緩衝空間となったり、従業員の方にとっても働きやすい場となります。</p> <p>他方で、近年は工場とその他の用途の建物が混在しがちです。区域内に住宅や商業施設を建てる際には、工業系施設が立地する場所であることを認識した上で、緩衝となる緑地を設けるなど、自らの敷地内の環境を保全する配慮が必要です。</p> 
<p>通りからの見え方に配慮すること</p>	<p>②通りから見える景観に配慮する</p> <p>通りに面する場所にオープンスペースを設けるなど、通りからの見え方への配慮が必要です。通り側に駐車場や屋外設備を配置する場合には、その周囲を緑で演出することが有効です。</p> <p>緑豊かで潤いのある工業地は、働く環境として好ましいものであるとともに、緑が騒音や振動を和らげる緩衝的な役割をします。</p> 
<p>建物等で配慮すること</p>	<p>③親しみを持てる工場・倉庫の景観づくり</p> <p>周辺に圧迫感を与えることがないように、素材や色彩を工夫したり、壁面の分節化を図ることが望まれます。しゃれたデザインや落ち着いた空間を演出することで、景観の向上に加え、企業イメージの向上にもつながります。</p> 

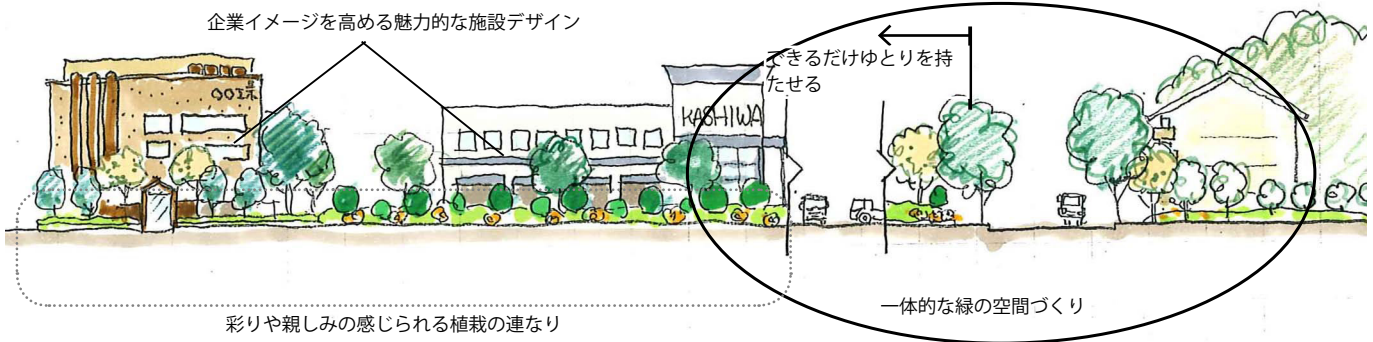
行為の基準

枠部分のガイドラインは、景観法第16条第1項に定める行為の届出及び柏市景観まちづくり条例第7条に定める事前協議の際の基準となります。

工業系地域の景観まちづくりガイドライン	計画・設計要素等	頁
快適で魅力的な工業地景観を形成する	敷地計画・施設デザイン	104
周辺の住宅地や商業地、自然・田園景観に配慮する	区域外縁部、敷地境界部の修景計画	105
通りに面するところでは、オープンスペースを設けるなどの工夫により圧迫感を和らげる	外構・植栽計画・施設デザイン	106
通りの景観のポイントとなるよう、エントランスやコーナーをデザインする		107
駐車場や出入り口を修景する		107
親しみやすい施設デザインの工夫をする	建物デザイン	108
落ち着いた色彩や素材を用いて建築物等の表情をつくる		109
屋外設備等は、配置や修景を工夫する	屋外設備等	110
工場付属施設の配置やデザインを工夫する		110
周辺と調和した落ち着いた色彩とする	色彩計画	111

周辺環境に配慮し、快適な工業景観づくり

1：快適で魅力的な工業地景観を形成する



2：周辺の住宅地や商業地、自然・田園景観に配慮する

ガイドライン 1：快適で魅力的な工業地景観を形成する

工業系地域に立地する工場等は、生産の場として機能を追及するゆえに、敷地や建物の規模が大きく、また無機質な空間になりがちです。

敷地の利用方法や建築物のデザインを工夫することで、周辺に対する工場の影響を和らげるだけでなく、工場等で働く従業者や訪れる人にとっても快適で魅力的な空間となります。



緩衝緑地を設けられ、周辺環境に配慮されている工業団地（十余二工業団地）



近年、市内にも企業のイメージを高めるような魅力的な向上デザインが増えつつあります。（風早工業団地）



植栽の彩りや親しみやすいオブジェなど、通り沿いの外構デザインは魅力アップのポイントとなります。（横須賀市）



周囲からの見え方を意識した、魅力的な植栽や建物のデザインとしている工場の例（白井市）

ガイドライン2：周辺の住宅地や商業地、自然・田園景観に配慮する

工業系地域では、周辺の住宅地、商業地、自然・田園地域など、他の地域との調和を図る事が大切です。また、工業系地域内では、工場や倉庫をはじめとする工業系施設の立地が基本とされますが、沿道型店舗、流通施設、住宅など用途が混在する場合があります。

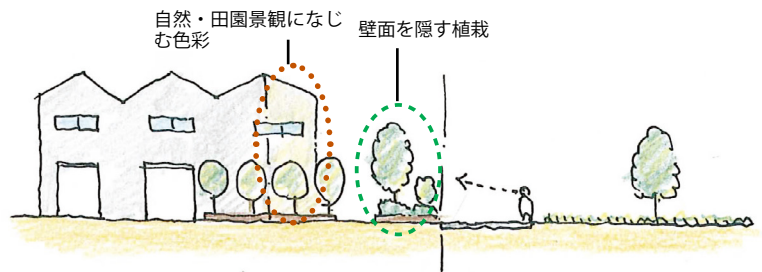
これらの場合、隣接する土地利用の状況に応じて、特に境界部ではできるだけ空間にゆとりを持たせ、施設や緑の配置により修景を図っていく必要があります。

一方、工業系地域に住宅等を建てる際には、工業系施設の立地が基本とされる地域であることを十分認識した上で、沿道系地域と同様に周辺の状況を十分検討し、自らの敷地内での環境の保全に配慮した景観づくりに努めていくことが大切です。

景観上の配慮としては次のような事項があげられます。

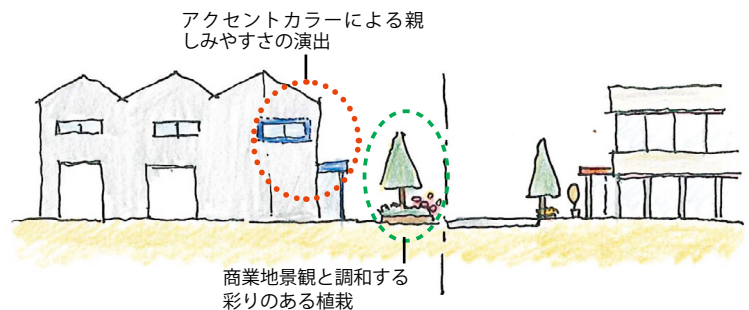
【田畑と隣接する場合】

田畑等と隣接する場合は、特に大きな壁面が目立たないように、周囲に中・高木の配置や周囲に馴染むよう色づかいにも配慮する



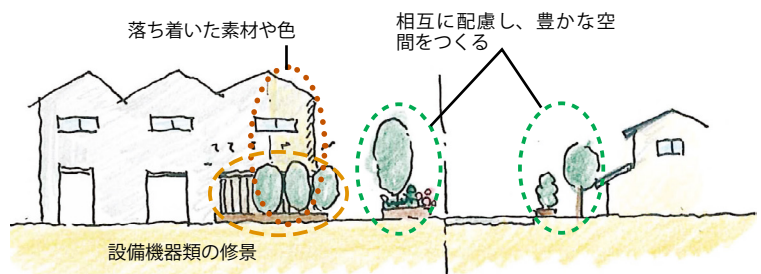
【商業地と隣接する場合】

商業地と隣接する場合は、建物からの見え方にも配慮し、建物周囲の緑化とともに色づかいか壁面デザインなどで親しみやすさを演出する



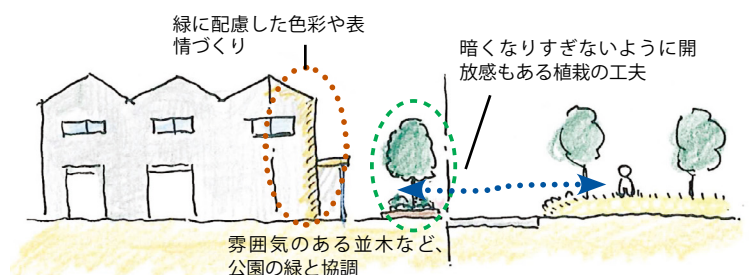
【住宅地と接する場合】

- ・敷地境界部の緑による修景に努める。
- ・住宅に対してネオンや派手な色彩が面しないよう努める。
- ・ボイラー等騒音のもととなるような施設や、設備機器類が住宅に面しないよう配置を工夫するとともに、視覚的にも露出しないよう修景する。

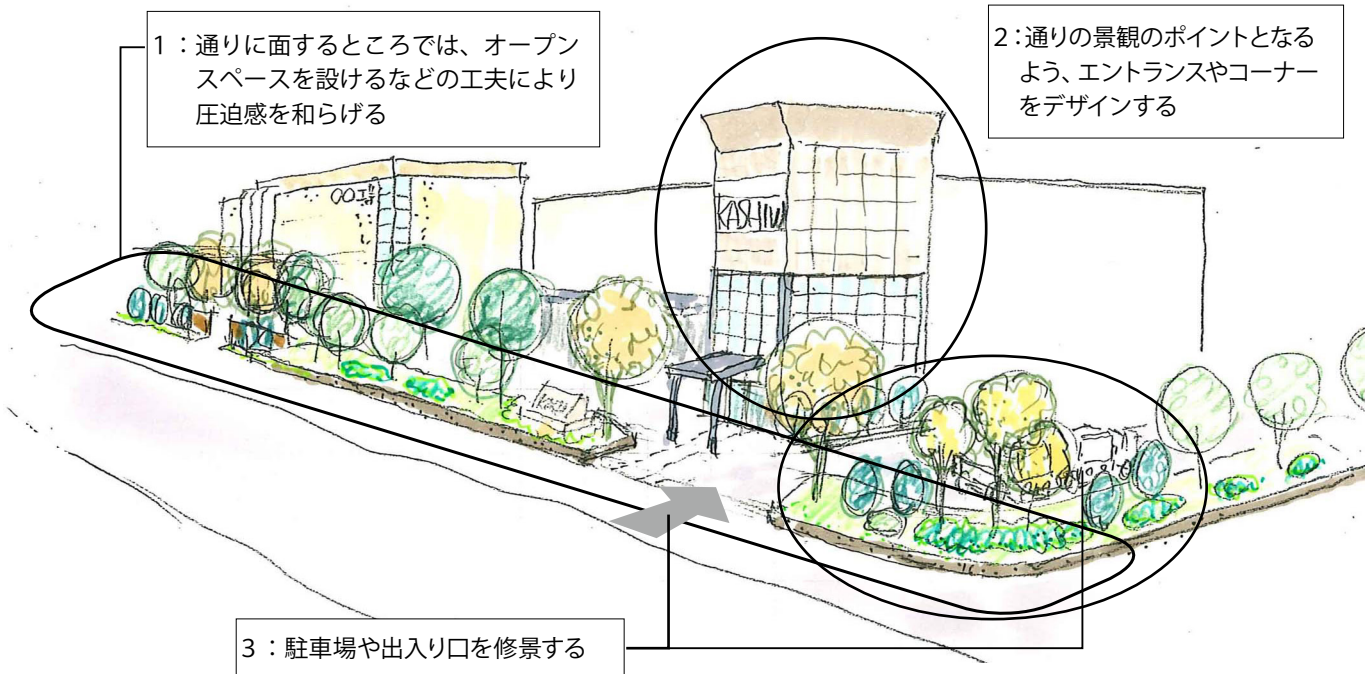


【公園・広場などに近接する場合】

- ・緑などの協調につとめる。
- ・色彩など公園・広場に対して落ち着きや親しみやすさが感じられる表情づくりに努める。



通りから見える景観に配慮する



ガイドライン1：通りに面するところでは、オープンスペースを設けるなどの工夫により圧迫感を和らげる

建物配置にあたって、通りに面するところではオープンスペースを設け、工場や倉庫の圧迫感を和らげる工夫をしましょう。また、屋外設備や駐車場などはなるべく通りから見えない場所に配置しましょう。

緑は通りからよく見えるように敷地の外周部や壁面・屋上に配置しましょう。透視性のフェンスとしたり、塀やフェンスの外側を緑化するなど緑を見せる工夫をしましょう。

四季を彩る質の高い植栽計画により潤いを演出することも有効です。



敷地外周にマウンドアップされた豊かな緑の空間を配置しています。(相模原市)



通り側に緑を多く配置しています。(根戸)

ガイドライン2：通りの景観のポイントとなるよう、エントランスやコーナーをデザインする

工業地では敷地規模が大きい施設が多く、通りの景観が単調になりがちです。エントランスやコーナーなどを施設デザインのポイントとし、変化をつけましょう。



コーナーに豊かな植栽を配置することに加えて、屋上や壁面の緑化を図ることで、通りから緑豊かな景観を演出しています。(神戸市)



エントランス前のオープンスペースを緑で演出して工場の雰囲気や和らげています。(新十余二工業団地)



コーナー部をオープンな外構とし、花木や草花で演出しています。(佐久市)

ガイドライン3：駐車場や出入り口を修景する

駐車場や車庫の出入り口が目立たない配置の工夫、周囲の緑化などによって雰囲気を和らげるようにしましょう。



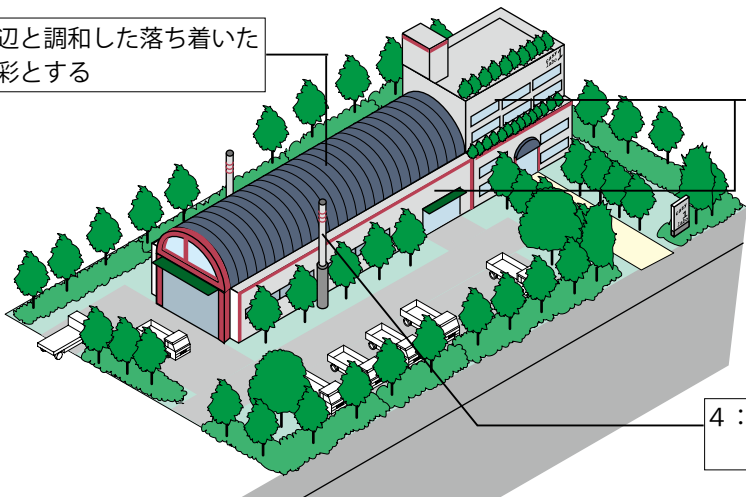
フェンスの外側を、低・中・高木の3段でさらに囲っています。(風早工業団地)



高木で囲むことで周辺住宅地の環境に配慮しています。(関西学園都市)

親しみを持てる工場・倉庫の 景観づくり

5：周辺と調和した落ち着いた色彩とする



2：落ち着いた色彩や素材を用いて建築物等の表情をつくる

3：屋外設備等は、配置や修景を工夫する

4：工場附属施設の配置やデザインを工夫する

1：親しみやすい施設デザインの工夫をする

ガイドライン1：親しみやすい施設デザインの工夫をする

工場や倉庫は、大規模であるため単調になりがちであり、周辺に圧迫感を与えてしまうこともあります。アクセントカラーを用いたり曲線を織り交ぜるなどにより、壁面に表情を創り出しましょう。また、圧迫感を減らすために建物を分節化するなどの工夫が望まれます。

また、サインは施設デザインを損ねないよう控え目な表現とすることや、周囲も含めた一体的なデザインとするなど施設デザインとの調和を図りましょう。



アクセントカラーを用いることで壁面が単調になるのを避けています。(戸田市)



外観に曲線などを取り入れることで、表情を創っています。(戸田市)



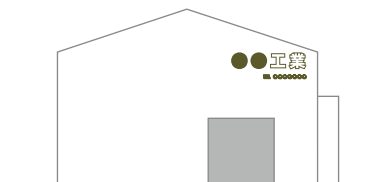
単調にならないようにデザインされています。(国道16号沿道)



建物の圧迫感を減らすために分節化された工場(川越市)

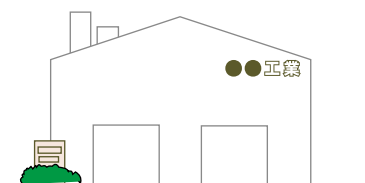
サイン類は・・・

施設デザインを損ねない控えめな
デザインとする



洗練された建物デザインに調和した、控えめな
大きさ・色彩の箱文字の壁面サインです。
(沼南工業団地)

周囲を含めて一体的にデザイン
する



植栽、建物などとともに施設の一要素として積
極的におしゃれにデザインされた企業サインで
す。(佐久市)

ガイドライン2：落ち着いた色彩や素材を用いて建築物等の表情をつくる

壁面や屋根は、落ち着いた色彩や素材を用いて表情をつくり、周辺に圧迫感を与えないようにしましょう。



森林の緑とレンガ素材の落ち着いた色が調和し
ています。(増尾)



素材（ここではコンクリート）そのものの色
を使い、落ち着きを与えています。(神戸市)



素材、色彩、植栽などの一貫したデザインにより、
軽快な表情がつけられています。(池田町)

親しみを持てる工場・倉庫の 景観づくり

ガイドライン3：屋外設備等は、配置や修景を工夫する

建物に付属する設備等は、目立たない場所に配置するか、建物本体との調和を図りましょう。特に色彩を工夫することが効果的であり、同系色として壁面との一体感をもたせたり、アクセントカラーを用いて壁面デザインに変化を与えるなどの方法が考えられます。



外壁と同系色を用いた配管類が、壁面に表情を与えています。(秦野市)



配管類にアクセントカラーを用い、壁面デザインをひきしめています。(秦野市)

ガイドライン4：工場付属施設の配置やデザインを工夫する

タンク・サイロ・煙突等、工場に付属する施設は、目立たない場所に配置するか、建物と一体性のあるデザインとすることや、落ち着いたカラーリングを用いることで、建築物や周辺と違和感がないようにしましょう。



設備室の壁面を修景し、まわりに植栽を配置しています。(池田町)



カラーリングによって楽しい雰囲気を出しています。(横須賀市)



景観に配慮して順次塗り替えを行っている例。写真左のタンクは、従来の右写真の色彩(青)から塗り替えたものです。(戸田市)

ガイドライン5：周辺と調和した落ち着いた色彩とする

工場や倉庫の色彩は全般的に控えめな色使いが多く見られます。一方で、それぞれの規模が大きいいため、単調な色使いでは圧迫感を感じる場合もあります。部位による色分けやアクセントカラーの使用などにより、親しみやすさや魅力を感じさせる色彩デザインとしていきましょう。

※ 色彩については、(3) 共通ガイドライン4 もご覧下さい。

● 現況の色彩景観

色味が少なく特徴のない色彩景観

工場や倉庫等の色彩は、白やアイボリー、ライトベージュなど、全般に色味の少ない色彩をベースカラーとした特徴のないものが多くなっています。また、灰色一色で無味乾燥としたイメージの強いものなどもみられ、より親しみやすい景観となるよう色彩や緑化などの改善が期待されます。

近寄りたたい雰囲気のある汚れた施設

一部の施設では、建物のメンテナンスに問題があり、汚損した施設が外部から目立っている例も見られます。これらの施設は、工場地周辺の景観を、閉鎖感のある近寄りたたいものにしてしまっています。

産業施設にふさわしいダイナミックなデザイン

一方、高明度・低彩度色をベースとし、シャッターや外部階段などにアクセントカラーを着彩したダイナミックで躍動感のある外観を形成している施設もみられ、こうしたきめ細かいデザインが波及することが期待されます。

● 目指したい色彩景観イメージ



シャッターにダイナミックなアクセントカラーを採用した建物（柏三勢）



豊かな植栽が和やかな雰囲気をつくりだしている事業所（新十余二）

● 色彩景観づくりの方向性

色彩を効果的に活用して

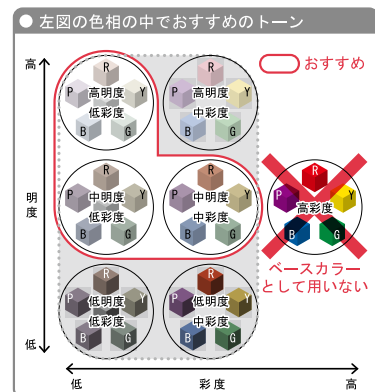
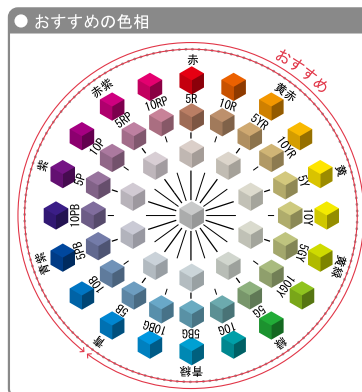
工場や倉庫等の整備においては経済性が重視されますが、色彩の変更は比較的容易で経済的負担も少なく済むため、より積極的に色彩を活用し、ダイナミックで活力ある景観を創り出していくことが大切です。

メンテナンスと併せて色彩の再検討を

建築物等の美観を維持し、威圧感を軽減するために、汚れた施設のメンテナンスが大切です。また、メンテナンスに併せて、事業所全体の建築物等の色彩を見直し、統一感のある施設づくりを進めていくことも重要です。

● おすすめの色彩

現況の景観は、明るさはあるものの色味が少なく親しみやすさに欠ける部分があります。このため現況をベースにしながらも、中明度・中彩度のナチュラルな色彩を採り入れるなど、近隣の住宅や周囲の緑とも調和するような色彩をおすすめします。



● おすすめの色相例 記号はマンセル値、[] は日本塗料工業会標準色見本帳番号を表している

● 高明度・低彩度色

5.0YR8.5/1.0 [15-85B]	10YR8.5/1.0 [19-85B]	10YR8.0/1.5 [19-80C]	2.5Y8.0/1.0 [22-80B]	5.0Y8.5/1.0 [25-85B]	5.0Y8.0/1.0 [25-80B]
10YR9.0/0.5 [19-90A]	10YR8.5/1.5 [19-85C]	2.5Y8.5/1.0 [22-85B]	2.5Y8.0/1.5 [22-80C]	5BG8.0/0.5 [55-80A]	N9.0 [N-90]
10YR9.0/1.0 [19-90B]	10YR8.0/1.0 [19-80B]	2.5Y8.5/1.5 [22-85C]	5.0Y9.0/0.5 [25-95A]	5PB8.0/0.5 [75-80A]	N8.5 [N-85]

● 中明度・低彩度色

5.0YR7.0/1.0 [15-70B]	10YR7.5/2.0 [19-75D]	10YR7.0/3.0 [19-70F]	2.5Y7.0/2.0 [22-70D]	5BG7.0/1.0 [55-70B]	N7.5 [N-75]
7.5YR7.0/2.0 [17-70D]	10YR7.0/2.0 [19-70D]	2.5Y7.5/2.0 [22-75D]	5.0Y7.5/1.5 [22-75C]	5PB7.0/1.0 [75-70B]	N7.0 [N-70]

● 中明度・中彩度色

7.5YR7.0/4.0 [17-70H]	10YR6.0/4.0 [19-60H]	2.5Y7.0/4.0 [22-70H]	5.0Y7.0/2.0 [25-70D]	5.0BG6.0/1.0 [55-60B]	5.0PB7.0/2.0 [72-70D]
--------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------------

※ 色見本は、印刷による色再現のため、実際のマンセル値とは若干異なります。

